



次回発行5月4日週～配布予定

お問い合わせ先：パルシステム茨城 栃木 つちうらセンター組合員活動専用

0800-800-6664 (9:00~17:00 月~金)

◆お預かりした個人情報、参加集約や連絡の目的以外には使用しません。



「つちうらセンター委員会」主催企画

# 防災士が教えるいざというときの心得&防災グッズについて学ぼう



◆メーカー株式会社丸藤の防災士から「もしもに備えて」常備品以外でやっておくべきことなど聞いてみませんか。  
※丸藤の防災グッズの展示あり！手に取って使い方を知る機会です。  
お気軽にご参加ください♪

1 開催日時：2026年5月26日(火)

10:00~12:00 (受付9:45~)

防災食の試食あり！

2 開催場所：スマイルパル土浦館 (土浦市大畑 211-3)

3 募集人員：20名

4 講師：株式会社丸藤 (まるふじ)

5 参加費：300円/一人

6 持ち物：筆記用具

7 託児：定員3名 月齢6ヶ月以上 (お子様一人につき500円)

8 締切：4月17日(金)

9 当落通知：抽選結果・詳細案内は、5/8(金)迄にお届けいたします

◆二次元コードまたは申込用紙に必要事項を記入し注文用紙と一緒に提出ください



5/26(火)「防災講座 心得&防災グッズについて学ぼう」参加申込書

つちうらセンター行き4/17(金) 〆切

コース番号	組合員番号	組合員名
参加者名	日中繋がる☎	
お子様の託児 (有・無)	☑ お子様の氏名 (ひらがな) ☑ 年齢： 才 ヶ月    ☑ 性別： 男・女 ☑ アレルギー：(有・無)    アレルゲン：	

## ちょっとおめめ拝借

～チュールリップとメルヘンの世界～



<花びらは何枚??>

♡ 花びらと思っていた3枚はなんと「がく」でした! 😲

<チュールリップの由来と生産地は??>

♡ 江戸時代末期にフランスから伝わったのが最初。

♡ 大正時代に富山県や新潟県で栽培が開始されました。

♡ 球根の産地 富山県 (全国の約8割)

♡ 切り花は新潟県 (全国トップ)

※6枚花びらがあるように見えるけど実際は3枚。外がわの3枚はがくです

・チュールリップにちなんで、、、、チュールリップのお姫様は??

登場人物



もうわかりましたか?～

答えは、「**おやゆび姫**」です。 [アンデルセン童話より](#)

◆みなさんも、この季節にチュールリップを見ながら童話を手にとってみてはいかがでしょうか♡

【平和・核廃絶フォーラム実行委員会主催】

みつけよう みんなの平和 ～戦争も核もない世界を目指して～

日程：5月5日(火・祝) 13:00~16:00 場所：スマイルパル土浦館

★当日参加OKですが、4/19(日)までに申込みとプレゼントがもらえます!

※詳しくは同時配布中のこのゆびと～まれ4月号をご覧ください。



# 知産知消

～ともに鳴らそう笑顔の未来へ～

## 参加報告

◆3/5(木)土浦市「ホテルマロウド筑波」にて、全国各地からパルシステムの産直産地の生産者 40 名をお迎えして年に一度の交流会が開催されました。私たちの食卓に安全・安心が届くのは作り手のみなさんの愛情と多くの時間があったからこそ。今回もたくさんの組合員のみなさんにご参加いただき、直接生産者にお会いして、取り組みやこだわりなど貴重なお話を伺うことができました。

|| 「産直産地」の食材でランチ交流 ◎



### 《参加者の声》

◎安定したパルの産直システムが農産物だけでなく労働環境改善になり新規就農・後継者育成に役立っていることに感動しました。長崎県島原自然塾の生産者は若くてイケメンで次世代の農業や人作りにも取り組む頼もしい方でした。

K・Hさん

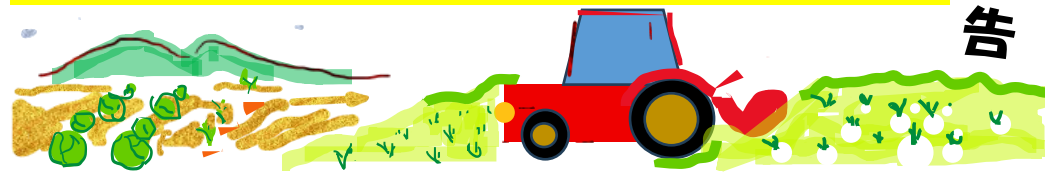
◎全国の生産者さんに会えてお話しできてよかった。家業を継いたり、熱い野心を持って飛び込んだり、一人一人の人生に触れることができました。私も買って応援し続けます

A・Oさん

◎初めて生産者さんとの交流会に参加しました。JA かがやき（新潟県ささかみ）の『もち米の王様』のお餅をみつけたら食べてみたいです直接お話を聞いていろいろと知ることが出来てよかった。

H・Iさん

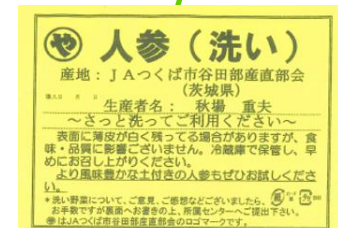
## JA つくば市谷田部産直部会と交流会 報告



◆3/16(月)うしくセンター委員会とつちうらセンター委員会の合同交流会で営農センター内の施設見学をし、生産者の取り組みやこだわりなどを伺いました。昼食交流をしながら楽しい時間を過ごすことが出来ました。



野菜の中に一緒に入っている生産者カードにコメント、メッセージなど書いて応援しよう！



### 《参加者の声》

◎新しい気づきがありパルの野菜の魅力をより一層感じる事ができました。つくば市の急速な都市化と高齢化や夏の猛暑など課題が山積している中、あれこれ苦心しながらエコチャレンジに対応して栽培していることに感謝です。

Y・Kさん

◎茨城が世界の台所を支えているという言葉が、肌で感じた瞬間でした。徹底管理された冷蔵倉庫や、丁寧な袋詰め、そしてすべての基礎となる土づくり。常に食べる人の顔を思い浮かべ、一歩も妥協せず汗を流す生産者たちの姿。その誠実さに、熱いものがこみ上げられました。

K・Tさん

◎施設内の普段見ることのない所を順番に見せてもらいました。土づくり、化学肥料に頼らない栽培、栽培基準の管理、毎週の打ち合わせなど細やかな管理をして、安全・安心の野菜、きのこ、米を私たちに提供してくれるのがよくわかりました。

Y・Fさん